

コルザはフランス語で「菜の花」生活クラブ虹の街の機関紙です



千葉ブロック主催 コミュニケーションひろばの「甘酒酵母でパンづくり」
3月14日、デポー園生 2F 地域交流スペース虹にて

目次

2 活動ファイル・ブロック活動ファイル

3 ひと：紹介親子

お知らせ：第43回通常総代会傍聴のご案内 募集：ジュース用トマトの収穫

4 特集：アクティブシニア

6 千葉グループからのお知らせ：風の村 VAIC-CCI アーシアン

7 お知らせ：JFSA イベント情報・こんにちは！赤ちゃん♪せっけんプレゼント

8 今月の消費材：ビオサボ食材セット/タイハイ(株)・5月のデポー

サステイナブルなひと、
生活クラブ

理事会だより（3月議事抜粋）

① 夏の参議院議員選挙に向け、参議院選候補（予定）者に対して、1.食料自給力向上と食品表示 2.エネルギー政策 3.社会福祉の充実 4.非営利セクター支援 5.憲法改正のための国民投票の改正 以上5項目について政策提案と公開質問を行い、回答とマニフェストに反映を求めます。

2月の組織報告 総供給高 641,951,237円

総組合員数 43,052人（班4,908人 個別21,254人 デポー11,856人 経済共済5,034人）

② 2019年度エコロ制度福祉・地域づくり企画助成は、柏・千葉ブロック共に10万円（総額20万円）に決まり、助成金で福祉・地域づくりを目的とした講演会や映画上映会を行う予定です。

③ デポー木刈のリニューアルについて、移転を含め組合員の要望を鑑み検討した結果、現立地でリニューアルを行うこととしました。リニューアルオープンは12月を予定しています。

コミュニケーションひろば

コミュニケーションひろばは、仲間づくりや地域の交流を目的につくられた講座メニューで、4人以上集まって組合員が主催すれば、どれでも誰でも受講することができます。講座は、虹の街の組合員・生活クラブ千葉グループ関連団体・エコ福祉基金の応募団体等が日頃行っている内容がアイテムとして提供されています。いろいろな場面で使える虹の街オリジナルのコミュニケーションツールです。

2018年度は、昨年より開催回数11回減・参加人数78人減で60回682人でした。特に、趣味と健康の講座開催が減少しましたが、環境は開催が1回増・参加者16人増でした。ビオサポマイスター講座は、講座のある5ブロックすべてで開催し126人が参加。

拡大が目的ではありませんが、員外の参加が10人増え、組合員が集い、



環境：せっけん講座のようす

学ぶ場として活用されました。

ブロックから推薦された講座のうち約半数・新規4講座のうち3講座が開

HPへは、こちらから→



催されました。

地域活動を豊かに、また活性化するツールとして、コミュニケーションひろばがもっと活用されることが今後の課題です。

2019年度は、10講座加わって78講座に(下表)。開催にあたり、ブロックから開催費用の補助が受けられる場合があります。

本紙と同時にダイジェスト版を配布予定です(デポーはフロアに)。

テーマ	数	2019年度のおもな講座内容	新規10講座追加!
食	23	パン・ケーキづくり、簡単料理教室、親子クッキング、食育、薬膳、マクロビ、離乳食、天然酵母パン、スイーツ、ナチュラルフードなど	
子育て支援	6	ブックトーク、わらべうたで子育て、おはなし会、アルバムカフェなど	
高齢者支援	4	認知症サポーター養成、療育・音楽療法、介護制度についてなど	
健康づくり	11	人と食と土のつながり、姿勢、足裏、体操、笑いヨガ、ボクササイズなど	
趣味	18	ポーセラーツ、フラワーアレンジメント、トールペイント、プリザーブドフラワー、着付け、アロマセラピー、デジカメ講座、バルーンアートなど	
環境	7	せっけんの使い方、地球にやさしい暮らし方、子どもを化学物質から守るなど	
その他	8	家計のチェック、葬儀について、フェアトレード(ヘナ講習など)、成年後見制度、「生活支援」の上手な使い方など	

*無料(下線)の講座もあります。

ブロック活動ファイル

佐倉

ひまわりプロジェクト



NPO法人シャロームは、福島県で食用油ひまわりを栽培していましたが、2011年の東日本大震災と原発事故によって栽培が困難になりました。それを知った全国の人がボランティアでひまわりを育て、採れた種を送ったのが『ひまわりプロジェクト』の始まりです。

毎年、佐倉ブロックでは組合員に呼びかけ、賛同者と一緒に収穫した種を福島へ送っています。2018年度にはコミュニティひまわりプロジェクト応援隊として活動を開始。

3月13日、佐倉市根郷公民館にて、ひまわりプロジェクト応援隊連携企画「ひまわり油を使ったお料理会」を開催し、8人が参加。福島に想いをはせました。

これからも全国の仲間と福島を繋ぐひまわりプロジェクトを応援していきます!

理事 根本江美子

松戸

うおつかじんのすけ 魚柄仁之助さん講演会



3月6日、森のホール21の会議室にて、食文化研究家の魚柄仁之助さん(『生活と自治』ウェブ版コラム連載中)を招き、「食力を身につけよう!」をテーマに講演会を開催しました。組合員はもとより、チラシ折り込みから多くの員外参加があり、定員72人の会場は満席となりました。

「真実を語るには、忖度のない立場を保ちたい」と、この団体にも属さない魚柄さんの人柄や、自身の経験を生かした軽快な話術が終始会場を賑わせ、著書の目次から、参加者の関心が高い項目を中心に、物事の正否や真実を見極める力の大切さなどを話しました。また、多様化する社会における生協の役割についても、貴重な示唆を得ることができました。

運営委員 中谷麻姫子

ひと



水澤さん（左）と鈴木さん

ちょっとおもしろい呼び名 紹介親子

生活クラブでは、お友だちを紹介してくれた方を紹介親、紹介された方を紹介子と呼んでいます。

紹介親 水澤加奈子さん（2007年加入）

紹介子 鈴木雅子さん（2008年加入）

加入のきっかけは？

水澤：組合員の友人にデポ園生での生産者コラボ企画に誘われたのがきっかけです。デポの近くに住んでいるので前から気になっていました。鈴木：私は、昨年の9月に水澤さんの紹介で加入しました。水澤さんとは

幼稚園のママ友で、下の子が生まれたばかりで

「毎日の買い物が大変」と話していたところ、デポ園生を教えてもらい、お試し買いをしました。

その後、市販品と消費材の食比べ企画やデポフロアでの月見だんごづくりに子どもと参加しました。とても楽しかった



のと、どれを選んで安心できる生活クラブの基準の高さと、何よりおいしいのが決め手でした。お気に入りの消費材を教えてください。

水澤：あまりメジャーではないかもしれませんが、「有機和紅茶」が好きです。もともと紅茶は好きでしたが、企画で生産者のお話を聞いてさらに好きになりました。他には子どもたちも大好きな「ホットケーキミックス」。週末の朝食にしたり、アレンジしてパウンドケーキをつくったりしています。

鈴木：「トマトケチャップ」はトマトを感じる素材そのものが良いのでオムライス・パスタ・ドリアなどいろいろな料理に使っています。もったくさんの消費材や生産者のことを知り、勉強したいと思います。

募集：信州飯綱高原でジュース用トマトの収穫

計画的労働参加

トマトジュースの原料（加工用トマト）の生産を、組合員が手伝っていることをご存知ですか？

日程：8月11日（日）～13日（火）（2泊3日）

参加条件：経験・性別不問。

組合員及びその家族で18歳以上（高校生不可）

*生産者の指示に従い日程期間中作業を行う体力があり、最低限の団体行動がとれること。

作業時間：3日間合計で実働12時間（途中休憩あり）

1日目/午後のみ、2日目/午前と午後、3日目/午前のみ

（長靴・合羽持参。多少の雨でも作業します。激しい雨天の場合は中止もありその場合の報酬はありません）

参加報酬：日給4,000円（このうち生産農家負担2,000円）

自宅から集合先までの往復交通費は一律1,400円支給

集合先から現地まで（高速バス使用）の往復交通費と宿泊料は自己負担なし

集合解散：新宿駅西口 7:00頃集合、19:30頃解散の予定

募集人数：虹の街（生活クラブ千葉）より10人（応募者多数の場合は抽選）

「計画的労働参加」は対価のある「労働」で、必要人数を確保する必要があります。抽選に外れた方はキャンセル待ちとさせていただきます。

申込締切：5月31日（金）厳守

6月中旬に結果をお知らせし、参加決定者には詳細を連絡します。

問い合わせ・申し込み：事業部 岡崎 tel: 043-278-7693



お知らせ

第43回通常総代会 傍聴のご案内

来る6月18日（火）、第43回通常総代会開催にあたり傍聴を受け付けます。

定員：30人

締め切り：

5月31日（金）午後5:00

傍聴を希望される方は、各ブロック事務局までご連絡ください。



などのイベント、ワークーズなどに参加してみたいかがでしょうか。

2. 身体を動かし筋肉を保つ

「立ち上がる」「起き上がる」「歩く」など筋肉に負荷をかけることで、筋力を維持・向上します。

3. 栄養バランスの良い食事

口腔ケアが低栄養を予防します。いろいろなものをよく噛んで食べることで、味覚を保持し消化吸収にも繋がります。また、カルシウムの吸収を高めるビタミンDを組み合わせるなど、ひと工夫で効率が良くなります。

食べ親しんできた消費材で 美食百彩

組合員の中心年齢層が高まっているなか、家族や自身の身体状況の変化に向き合い、いくつになっても「食べたいものを食べたい形で」食べることを可能にするために、健康寿命をサポートし、家族みんなで食卓を囲めるように、「低栄養状態を回避する」「食べる意欲を促す」「弱くなった食機能をサポートする」の3点をコンセプトに開発をすすめました。

5月から取り組みが始まりますので、「美食百彩マーク」をご参考に！

骨の健康度をチェック！



虹の街理事会では、福祉委員会の提案を受けて、エコロ制度で骨の健康度測定器を購入しました。これまでの、足(かかと)で計測するタイプに、手首で簡単に計測できるタイプが新たに加わりました。ブロックでの企画や展示会などの際に登場します。お楽しみに！

問い合わせ：福祉・たすけあい事業部
043-278-7768



集う・体を動かす・たのしく食べる！

オレンジカフェ

生活クラブ風の村流山サポートハウス tel: 04-7153-6333

流山市にある生活クラブ風の村流山サポートハウスは、「地域の皆さんが住み慣れた場所で生活できる地域づくりをめざす複合施設」で、今年5周年を迎えます。

その1階にある「から風流」は、ダイニングカフェ・地域交流スペースでバリアフリー。だれでも気軽に立ち寄れる居場所です。ランチタイムには、現在13チームのシェフが「ワンデイシェフ」として日替わりでさまざまな料理を提供しています。

毎月22日は、オレンジカフェを開催(13:30～15:00)。参加費は100円。毎回、いろいろな企画に、認知症の方や介護している家族、地域の人などが参加し、憩いの場になっています。

3月22日は、16人が参加しました。まず、同施設職員の内山さんが、恒例のいすに座った体操で15分ほどウォーミングアップをリードします。次に、ボランティアでシナプソロジーインストラクターの梶原進之介さん(写真)が、ちょっと頭を使いながら

座ってできる体操を15分。だんだん難しくなり、参加者からは失敗するたびに笑いがこぼれます。「間違っ!と認識しているのが大切です」と梶原さん。

体操のあとは、用意されたお菓子をつまみ、コーヒーを飲みながらおしゃべりタイム。出身地や趣味の話など、楽しそうにいろいろ話します。15:00終了。「あ～楽しかった!」と笑顔で帰るうしろ姿は、来た時より元気になったようです。

ボランティアスタッフの反省会では、今後のテーマ・買出しの担当決めなどについて、真剣かつ盛り上がりながらのミーティングも笑いにあふれていました。

シナプソロジー: 脳の動きを考えて組み立てられたプログラム。楽しく「脳」を活性化させて、認知機能を向上! 「2つのことを同時に行う」「左右で違う動きをする」といった普段慣れない動きで脳を適度に混乱させ、さらに効果的な刺激を与えることで、脳の機能が高められると考えられている。

アクティブシニア

一般には65歳以上を高齢者としていますが、20年前に比べ体力が向上し（内閣府「高齢社会白書」より）元気な高齢者の姿を見かけます。

これには、運動や生活環境などが関わっており、シニア世代にも健康志向が高まっています。

ところが、健康寿命が延びている一方で、平均寿命に比べて延びが小さく、この差を縮め、元気に長生きすることで、医療費・介護費の負担を軽減したいと考えられています。



猪狩さん（左）と小山さん

3月4日、船橋市中央公民館で行われた消費委員会主催のバイオサポマイスター交流会・バイオサポアクティブシニア（美食百彩）講座を取材しました。講師は、生活クラブ連合会「健康な食推進課」の猪狩裕子さんと同課で管理栄養士の小山舞里菜さん。

バイオサポとは



生命を意味する「BIO」と「美を」を掛け、生命力あふれた健康な生活を「サポート」していく、という意味の生活クラブの造語です。消費材でカラダもサイフも、そして環境や社会も健康にしよう！という欲張りな提案です。

ライフステージ別の栄養のポイント

50～65歳までは、メタボ対策が主でしたが、低栄養にならないような対策が必要になります。消費エネルギーは減りますが、必要な栄養素の量

はほとんど変わらず、たんぱく質の摂取量は18歳以上は70歳を過ぎても同じ量が必要です。コレステロールを気にして肉や卵の量を減らすと、たんぱく質の摂取量も減ってしまいます。

低栄養ってなあに？

食欲の低下や食事が食べにくいなどの理由から徐々に食事が減り、体を動かすために必要なエネルギー・筋肉や皮膚・内臓などをつくるたんぱく質が不足した状態が低栄養で、これに精神的な変化や気力の低下などが加わり、悪循環が健康障害になりやすい状態をつくります。

健康寿命を延ばすためのヒント

1. 社会的人間関係を持つ

人と関わる時間を増やして活力のある生活を生み出すこと。生活クラブは、強い味方！たとえば、料理会・交流会

バイオサポ活動を展開中のバイオサポマイスターに、元気の秘訣を聞きました

三浦章子さん

（松戸ブロック・おもにデポー新松戸で活動）

健康のために気をつけていること

食べ物は生活クラブの消費材のみです。おいしいし、便利だし。他のものを食べるとどうも調子がよくないんです。

特に運動はしていませんが、こまめに動くようにしています。

マイスターとして心がけていること

消費材をどのように長く利用していけるかをコンセプトに、ランチ形式で、作り方はデモンストレーションで、食べて納得してもらうなど参加しやすくしています。一緒に食べて、おいしかった、楽しかったなど、レシピや参加者同士がお友だちになる繋がり感なども含めて、おみやげを持って帰ってもらうことです。

同年代の組合員には

消費材の利用を続けて欲しいと、やめないように促しています。物を刻む作業が次第に大変になってくるので、カット野菜があるといいですね。



吉澤正孝さん

（千葉ブロックで活動）

健康のために気をつけていること

米・小麦粉・塩・砂糖など、精製しすぎたものはとらないようにしています。

ビジョンフードの肉類と、野菜は1日に

350g。生活クラブの野菜は、（組合員と生産者で発足させた）自主管理監査制度*の基準に基づいてつくられているので、安心して利用しています。

運動は、よく歩くようにしています。簡単なスクワットを日課にしています。

マイスターとして心がけていること

新規加入者対象のビギナーズカフェで、若い人やお子さんたちに、食品添加物について説明し、市販品に含まれる添加物を安易に取り込まないように気をつけるように話したり、精製しすぎたものは、栄養価も減ってしまっていることなどを話しています。

*自主管理監査制度は、「持続可能な生産と消費推進制度」に名称を改めました。





生活クラブ風の村



事業本部：佐倉市王子台 1-28-8 ちばぎん白井ビル4階

tel: 043-309-5811 fax: 043-460-8844

https://kazenomura.jp/

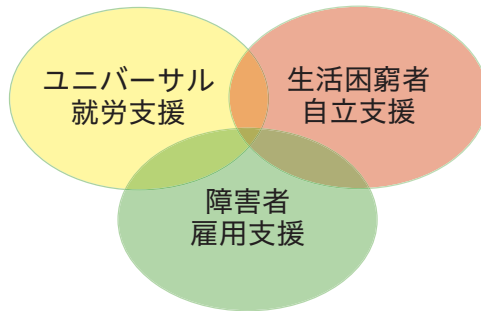
e-mai: linfo@kazenomura.jp

事業所紹介「しごと・暮らし事業部」

今春より、「しごと・暮らし事業部」と名称変更しました。当事業部では、①生活困窮者自立支援、②ユニバーサル就労支援、③障害者雇用支援を一体的に実施することを目的としています。

生活困窮者自立支援事業に関しては、千葉県内の7自治体より事業を受託しています。2015年の生活困窮者自立支援法施行から早くも5年目を迎える現在に至るまで、各自治体から生活困窮者等に対する支援の実績や成果が認められ、委託事業運営を継続することができています。

ユニバーサル就労は2008年の活動開始から10年が経過し、現在まで



しごと・暮らし事業部

258人のアセスメント*を実施しました。このうち風の村で就労に繋がった方は152人に及び、現在52人が就労中です。(2019年4月1日時点)

一方で、風の村の障害者法定雇用率*は2.2%ですが、2018年度は基準を

大きく上回り3.11%に達し、これは20人以上が対象となっていることを表しています。

経済的困窮など、生活にさまざまな課題を抱えている・障がいや疾病があるなど、はたらきづらさの理由は多岐に渡ります。「しごと・暮らし事業部」は、そのような方々がそれぞれの居場所でそのひとらしく生活し、就労していくことができるように、またそのような職場環境や地域社会をつくっていくように精一杯努力していきます。

生活クラブ風の村 しごと・暮らし事業部
部長 川上葉子

*アセスメント：(介護福祉分野では) その方の課題(ニーズ)についていねいに聴き取り、課題等を共有し、解決に向けて一緒に考えていくこと。

*障害者法定雇用率：障害者雇用促進法によって、民間企業・国・地方公共団体は、その「常時雇用している労働者数」の一定の割合(法定雇用率)に相当する人数以上の身体障害者・知的障害者・精神障害者を雇用することが義務付けられている。民間企業の法定雇用率は2.2%。

VAIC-CCI

事業本部：千葉市稲毛区園生町 1107-7



tel: 043-290-8015 fax: 043-290-8016

http://www.vaic-cci.jp/

e-mail: info@vaic-cci.jp

VAIC-CCIは10周年を迎えました

「これまでの10年・これからの10年」をテーマに、今後いくつかの記念行事を行う予定です。随時お知らせしていきますので、ぜひご参加ください。

VAIC-CCIをこれからもよろしくお願いします。

★★★★ 10周年のロゴ決定! ★★★★★



<第11回通常総会開催のお知らせ>

日時：6月15日(土) 15:00～16:30

場所：千葉市美浜保健福祉センター大会議室

(美浜文化ホール上4階)

※総会に併せて開催します

「映像で『これまでの10年』を振り返る」

「地域コーディネーター活動報告」

アーシアン

事業本部：千葉市美浜区真砂 5-21-12 1F



開所時間 13:00～16:00(水・土・日・祝日休み)

tel & fax: 043-279-8665

http://www.jca.apc.org/earthian/

e-mail: earthian93@jca.apc.org

第13回定期総会のご案内

日時：6月6日(木) 13:30～15:00

(受付開始 13:15)

場所：生活クラブ虹の街本部1F

地域交流スペース渚B・C

*交流会は同所で(15:15～16:30)行います。

アーシアンでは、海外との交流と支援を目的に事業をすすめています。総会終了後の交流会では、日頃の活動を紹介します。会員以外の方でも活動に関心のある方は、ぜひご参加ください。



参加申し込みは事務所までご連絡ください。

写真はアル・カイールアカデミー

(NPO) 日本ファイバーリサイクル連帯協議会

事務局：千葉市中央区都町 3-14-10



tel & fax : 043-234-1206
(9:00 ~ 19:00 木曜定休)
e-mail: jfsa@f3.dion.ne.jp



検 日本ファイバー
索 リサイクル

アル・カイルアカデミー、キャンパス 8 開校へ

JFSA は 1 年間で約 110 トンの衣類や毛布・バッグなどを集めています。そのなかで生活クラブ虹の街の組合員の方からの回収は約 24 トンです。これは JFSA が回収している衣類などの 21% に相当します。たくさんのご協力ありがとうございます。

JFSA が運営を支援しているパキスタンの学校「アル・カイルアカデミー」は本校と 7 つの分校、1 つのカレッジ（2 年間の予科学校）があり、現在 4500 人の子どもたちが通っています。そして、現在 8 つめの分校の開校に向けて準備がすすまられています。

「予定地は、キャンパス 3 から徒歩

5 分ほどのカラチ市郊外で、小さな集落が点在し、人々は伝統的な暮らし方を大切にしています。初等教育を終える 5 年生（10 歳）頃になると、親が男子との共学を望まないの、女子が学校をやめてしまいます。そのため、生徒も先生も女子の学校をつくることにしました」と校長のムザヒルさん。

女子が学び変わっていくことで、彼女が暮らす集落に、学ぶことの大切さが伝わっていくでしょう。また、彼女たちが母親になった時、薬の処方箋を読んだり家計の計算ができます。学校で学んだ衛生や栄養についての知識が、子どもの命を守ることに繋がります。



(母親が中等教育以上を受けていると、5歳未満の子どもの死亡率が5割下がる / ユニセフ発表)

皆さんからの衣類や毛布・バッグなどが、スラムに暮らす子どもたちの学びを支えます。5月からのJFSAの回収にどうぞ協力ください。お友だちやご近所の方にも声をかけていただくと嬉しいです。

デポーでの回収 5月30日～6月2日
(浦安除く) 詳細はちらしをご覧ください。

配達便での回収 5月20日～31日
詳細は5月6日週配布のちらしをご覧ください

2019 夏の展示会

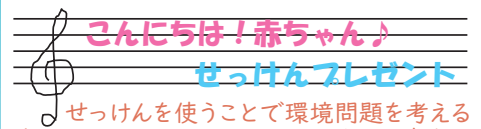
- 6/1.2 センター柏
- 6/8.9 センター市原
- 6/15.16 センター千葉
- 6/22.23 センター佐倉

こだわりの逸品
見て・触れて・試して!

フェアトレード品 / めがね / オリジナルデザインバッグ / 高機能浄水器・電気製品 / 着物 & リサイクル品 / 伝統工芸品 / 食器類 / 婦人靴 / 介護用品・ベッド / アロマ製品 / せっけん類 / 本革ランドセル / 真珠・宝飾品 / 婦人服 / 木のおもちゃ / etc.

*会場により出展者は異なります。詳しくは、展示会ちらし、各ブログの機関紙、あるいはホームページをご覧ください。

配達時またはデポーフロアに提出してください。



せっけんを使うことで環境問題を考えるきっかけにしてほしいと、お母さんと赤ちゃんに、生活クラブのせっけんを贈ります。

お誕生おめでとう!

加瀬 旺資 (おうすけ) くん	2018.03
藤井 惟輔 (これすけ) くん	2018.06
植田 俊汰 (しゅんた) くん	2018.06
五味 尚壯 (しょうま) くん	2018.07
杉本 芽衣子 (めいこ) ちゃん	2018.08
マックターナン ^{ハル} 悠 マイケルくん	2019.01
大内 裕稀 (ゆうき) くん	2019.02
山田 ほのか ちゃん	2019.03



組合員氏名		組合員番号		申込 締切
こんにちは!赤ちゃん♪せっけんプレゼント 申請 (太枠の組合員氏名と番号を記入してください)				1歳の誕生日の前日までに申請してください。
赤ちゃんの なまえ	ふりがな	赤ちゃんの生年月	20 年 月 生まれ	
	(男・女)			
『コルザ』に掲載してもよろしいですか。 (はい・いいえ)				



↑ WEB からの申し込みはこちらから

ビオサポ食材セット



沖縄麩の卵とじ

約10分でメインディッシュが完成!

カットされた食材・タレ(調味料)・レシピがそろった食材セットです。生活クラブだからこそ、国産素材中心・化学調味料不使用(消費材を活用したオリジナル調味料)・野菜が多めの3点にポイントを置いた安心メニューが、短時間で仕上がります。

簡単サツとつくれるから忙しい日も安心

食材を袋から出して…料理に慣れていないお父さん・お子さんもレシピを見ながら気軽にチャレンジできます。少人数家族にとっては、野菜を使い残すこともなく、ムダにするお悩みも解決。



赤いパッケージは元気のしるし!

組合員の声に応じて、毎週新メニューが登場!

旬のものや珍しい食材の組み合わせなどメニューのストックは現在200種以上。料理のレパートリーも広がります。

ビオサポセットの生産者、**タイハイ(株) 食品事業部の坂本江里さん**に話を聞きました。おすすめのメニューは、提携生産者の麩を使用した「沖縄麩の卵とじ」、ボリュームもあっておいしいですよ。



とは、生命を意味する「BIO」と「美」を掛け、生命と健康な食生活をサポートしていく、という意味の造語。健康な食方をみんなで考えます。

※ビオサポ食材セットは、デポーでの取り扱いはありません。



お休み 5月は3・4・5日
6月9日(日)・23日(日) 2回お休み

*真砂・みつわ台は夏時間 4~9月は19:00まで
(日曜は通年18:00まで)

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

5月のデポー



生まぐる解体

5/18 新松戸・/25 大津ヶ丘・/27 真砂

*水揚げがない場合は冷凍まぐろが入荷

イベント案内

3week3meat

鶏肉 5/6~12

豚肉 5/20~26

牛肉 6/3~8

・期間中対象品目

・期間中の1日、それぞれ「ビジョンフードの日」を開催
日程はデポーによって異なります



5% off

朝採り野菜の日 5/22

天候などにより、中止になる場合もあります。

週末イベント：お得意いろいろ

母の日フェア 5/10~12

初夏の食卓フェア 5/24・25

提携産地フェア 5/31・6/1



今月のトピックス

5/17・18 生活クラブデポーまつり
人気消費材の生産者に直接会える

来所生産者の おすすめ1品目が 当日限り 5% off
県内野菜生産者が野菜といっしょに登場するデポーも。
7~コレのお惣菜も入荷。

初めてのの方にデポーを紹介するチャンスです!

お友だちといっしょにどうぞ。

*来所生産者についてはHPなどをご覧ください

2日間ポイント2倍!
Wポイントデー

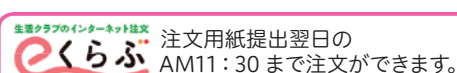
試食
いろいろ

メールマガジン
あなたの携帯に
デポーの情報が届きます
登録受付中

デポーカレンダー
詳しいイベント案内を
掲載しています。



*2019年4月3日作成 イベントや入荷予定等は変更になることもあります。



スマホで簡単に
注文できます!

2/12以前にeくらぶに登録された方は、お手数ですが再登録をお願いします。